

# 平成26年度 中体連下伊那地区新人大会 <卓球の部>実施要項

下伊那中体連卓球専門委員会

1. 期日 平成26年10月4日(土)、5日(日)
2. 会場 高森町民体育館
3. 種目 団体戦(4単1複) 個人戦(全員参加可)
4. 日程  
4日(土) 団体戦  
開館7:30 練習7:45～ 監督アドバイザー会議8:00  
開会式8:15 競技開始8:50 閉会式16:40予定  
5日(日) 個人戦  
開館7:45 練習8:00～ 開会式8:45 競技開始9:00  
閉会式15:30予定

## 5. 競技方法

### (1) 団体戦

- ① 男子・女子とも2ブロックによる一次リーグを行い、それぞれの1～4位、男女各8校で決勝トーナメントを行う。そのうち上位6校が南信大会へ出場。
- ② 4単1複、ダブルスを3番に行く。但し、2.5台進行の場合、ダブルスを3台目で行わない。すべて3点先取とする。時間がある限り、両校監督の同意により、5番まで行ってもよい。
- ③ 1校の選手登録は10名以内とし、試合毎に1校6名でチームを編成する。(選手は、単、複の両方には出場できない。)  
\*事情により6人そろわないチームは、1番から不戦敗とする(最低4人必要)。
- ④ 試合の前に監督は試合コートにてオーダーの交換をする。(トス勝監督が試合進行、負監督が試合記録)。選手読み上げは1校全て読み上げてから相手校を読み上げる(迅速に)。
- ⑤ 審判は対戦校より次のように出す。  
・トス勝チーム側より1、3、5番の主審。2、4番の副審  
・トス負チーム側より2、4番の主審。1、3、5番の副審
- ⑥ トス負監督は、試合結果記入用紙を受け取り、全ゲームの記録を記入する。ゲーム終了後、両校監督がサインし、試合に勝ったチームの監督が本部に提出する。
- ⑦ 試合前の練習は、2本の乱打のみとする。
- ⑧ ゲーム間の休息は1分以内とし、監督・アドバイザーのアドバイスを受けることができる。(審判は、時間を計り、1分以内厳守させる。)
- ⑨ アドバイザーとして、次のうち1名のベンチ入りを認める。学校長の承認を得た当該校の教員・指導者、または生徒。

### (2) 個人戦

- ① トーナメント戦で行う。
- ② 1回戦は割当校の審判、2回戦以後は敗者が行なう。敗者は両選手からサインをもらい、記録用紙を本部に届けた後、次の2人の選手を自分が試合したコートへ案内し、審判をする。記録用紙に審判の名前を記入する。
- ③ コールされた選手は、本部横のベンチに対戦者と前後に並んで座り待機する。
- ④ 監督・アドバイザーのアドバイスは無しとする(進行上の理由による)。
- ⑤ ベスト16及び以降は、場合によって相互審判制とする(それぞれの学校から1名ずつ審判を出す)。

## 6. 組み合わせ

- ・ 団体戦は平成26年度下伊那中体連夏季大会及びカデット南信大会の結果を参考にして、専門委員会でリーグ分けをする。特別な配慮が必要な場合、専門委員会にて検討し、代表者会にて抽選する。
- ・ 個人戦は、原則として平成26年度下伊那中体連夏季大会及びカデット南信大会のランキングを基に8シード選手、32シードの学校を確定し、他の選手は専門委員会で決定したトーナメント表の各校のランキングに基づいて位置づける。

## 7 参加制限

- ① 団体戦は各校1チームとし、登録メンバーは10名以内とする。
- ② 個人戦は1・2年生全員出場できる。

- 8 南信大会 団体戦 11月8日(土)…高森町民体育館  
個人戦 11月15日(土)…駒ヶ根市民体育館  
本年度は男子は団体上位6チーム、女子は団体上位7チーム、  
個人は男女とも上位32名出場

- 9 表彰 団体、個人とも3位まで表彰する。(3位は2つ)  
団体、個人とも3位決定戦は行う。

## 10 団体戦の順位の決め方

### <予選リーグ>

リーグ戦で試合得点と同じ場合は、当該校間の勝敗、マッチ率、ゲーム率、得失点率の順で順位を決める。それでも順位がつかない場合は抽選とする。

勝ち…2点 負け…1点 棄権0点  
マッチ率…勝ちマッチ数÷負けマッチ数  
ゲーム率…得ゲーム数÷失ゲーム数  
得失点率…全得点÷全失点

### <3・4・5・6・7・8位の決定>

- ・3、4位決定戦、5、6、7、8位のランク決定戦を行う。
- ・南信大会に出場可能な順位の中に、6人に満たない学校が含まれる場合、その学校に南信大会の出場権はない。南信大会については、順位を繰り上げてに申し込みを行う。  
(3位の学校が5人で出場の場合、4位の学校を3位で申し込む。5位が4位、以下同様)

## 11 個人戦の順位

- ・3位決定戦を行う。5位～32位は敗れた相手の順位によって決定する。

## 12 ルール

今年度日本卓球ルールに準じて行なう。

### ◎ 正規のサービス (要点)

- \* 平らに開いた掌に置かれたボールはエンドラインの後方、台より上・静止
- \* そこからほぼ垂直に16センチ以上投げ上げる。ボールを打つ瞬間の打点とサポートの間にさえぎるものがあるてはならない。
- ・主審・副審がサービスの正しさに疑問を持ったときはレットとし注意をする。  
(サービスの直後にレットを宣告する。) 2回目以降は審判長の判断を仰ぐ。
- ・試合球は白球40mmとする。
- ・タイムアウト制は適用しない。
- ・抗議権は団体戦は監督、個人戦は選手本人に限る。男女兼任監督で、監督不在になる場合は、アドバイザーまたは主将に抗議権を認める(監督会議で確認)。

### (1) マナーの向上について

#### ① 選手の挨拶

- ・団体戦、整列時にはユニホームを着る。整列後、キャプテン同士握手をする。
- ・ラケット、ラバーを見せ合う(審判確認)。
- ・相手、主副審に挨拶をする。
- ・試合終了時も同様の挨拶をし、握手をしてわかる。時間短縮のため、団体戦終了後、相手ベンチへの挨拶は行わない。

#### ② 応援

- ・競技開始前は各校独自の応援をしてよいが、競技中は拍手を主体とする。
- ・団体戦のベンチでは座っての応援を基本とする。

- (2) ルールに関するマナー
- ① ゲーム間にアドバイスを受けるときはラケットを台上に置く。
  - ② 審判は判定動作やカウントの呼称をはっきりする。
  - ③ 選手はカウントを聞いてからサービスの動作にはいる。
  - ④ 紛らわしいサービスはレットの宣告でやり直し、度々なら審判長の指示を受ける。
  - ⑤ タオルの使用は両者の得点の合計が6の倍数の時のみ。
- (3) 選手はユニフォーム(チームで揃っていることが望ましい)を着用し、ゼッケン(協会登録ゼッケンが望ましい)をつける。ユニフォームが揃っていないチームの監督は、監督会議で申し出る。
- (4) フロア-に降りる人数は制限する。(登録選手と試合台数の審判)  
監督・選手(ゼッケンをつける)・審判・アドバイザー(ゼッケンはつけない)
- |     |
|-----|
| 選手名 |
| 学校名 |
- 5) 会場使用上の注意
- ① ごみは持ち帰る。
  - ② トイレはサンダルを使用し、きれいに使う。
  - ③ ギャラリーを使用する際は安全に十分注意する。
  - ④ 貴重品の管理は各自が責任を持って行う。
  - ⑤ 上下履きの区別をつける。
  - ⑥ 窓やカーテンの開閉は管理人さんと会場係の生徒のみ。

### 1 3 南信大会参加申込み

- \* 専門委員長が郡大会終了後、ただちに団体・個人共ランクをつけてエントリーする。
- \* 参加資格を得た学校は、参加申込書・アドバイザー承認書をデータと正式文書で下記のように提出してください。

#### データファイルによる参加申込書

下記URLにアクセスし、申込書をダウンロードしてください。10月17日(金)までに E-mailに申込書を添付して送付してください

#### 参加申込書のダウンロードURL

<http://nanshin-ppjh.seesaa.net>

\* 受信の確認の返信をします。

#### E-mailの送付先

E-mail knmmm510@gmail.com  
(緑ヶ丘中 林 久美 宛)

#### 正式文書(参加申込書とアドバイザー承認書 校長印のあるもの)

下記の住所に10月17日(金)までに郵送で林先生に提出してください。

〒395-0813 飯田市毛賀426 緑ヶ丘中学校 林 久美宛  
Tel 22-1469 FAX 22-1417 E-mail knmmm510@gmail.com

### 1 4 その他

- ・ 監督・アドバイザーのアドバイスは1分厳守。時間計測のためのストップウォッチを各チーム2つご用意ください。
- ・ 体育館の床が滑ることへの対策として、シートの上に限り、雑巾を使用することを認めます。
- ・ 喫煙所につきましては、体育館入口に設置されておりましたが、中体連の試合ということを重視し、体育館東側(テニスコート側)に場所を移動させていただきます。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。(指導者・保護者に予めお伝えください。)